

延島つみ

延島小学校長 田村芳広



閉校式 ありがとう延島小お別れ式 すべての人へ感謝!!

NO.2

◇思い出にふけるコーナー

体育館の後方には『思い出にふけるコーナー』が設置されました。お別れ式をみんなで作り上げるということではこのコーナーも児童が少しでも関われるようにしました。

☆輪飾りは1、2年生が『6年生を送る会』のために作りました。お別れ式では紅白幕をはる予定でしたが、輪飾りがとてもよかったので急遽紅白幕をはらないことにしました。

☆席書ができるまでのパネルを展示しましたが、「思いを文字に」という文字と矢印は1年生が作りました。

☆窓下の長い延島小学校歴史年表は3年生が教頭先生の指導の下、時間をかけて作成しました。

☆アルバム等をおいたテーブルの上を飾った花は4年生。後方の手すりの大きな『ありがとうございますのぶしま小』の看板は運動会で作ったものですが、4年が下書きをして、全学年で作成しました。

そして、5、6年生は重要な式の司会進行を担いました。展示パネルにあった掲示物はほとんどが今まで昇降口前に展示していたものですが、追加や修正を先生方が行いました。その他、体育館東玄関の立て看板は、先生方がみんなで席書でやろうと決めたらしく、校長が知らぬ間に、作り上げていました。子どもたちの活動以外の部分でも、たくさん、子どもたちの手がかかれ、手作り感満載の会場であったと思います。



◇DVD鑑賞会

昼食後にDVD鑑賞会を行いました。長い時間でしたが、子どもたちはよく観ていました。最後に、60名全員の顔を一人ひとり流しました。低学年の児童が、顔の画像ができるたびに、「〇〇ちゃ〜ん」と名前を呼んでいて、延島の子どもらしい温かい雰囲気でした。エンディングはねむの木祭の風船を飛ばす動画だったのですが、残念ながら下校時刻やPTA臨時総会の時刻が迫っていたので、観ることができませんでした。もし、まだ観ていない児童がいたら、御家庭で最後を観せてあげてください。

たくさんの言葉、画像をいただいています

玄関で来賓の方を見送るときに、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。また、体育館内、体育館への通路でも地域の方、保護者の方から感動したという言葉がたくさんいただきました。

- 歴代の校長先生方から、本校職員の子どもたちに対する思いを褒めていただきました。教師だからわかること、これだけのものを作るのに、子どもたちと職員が信頼関係ができていて、子どもたちが先生の指導を素直に聴いていること等がみえるということでした。「延島小の最後をこんなに立派にやってくれてありがとう。」という言葉もいただきました。
- 今後閉校が考えられる学校から閉校式とお別れ式を見に来た先生がいます。「子どもたちの姿がすばらしかった。」と大変力を入れて校長先生に伝えたようです。そして、その姿に感動してしまい、関わりはなかったけれども涙が出てしまった。」とその学校の校長先生がわざわざ電話をくださいました。
- 絹地区の校長先生が帰られるときに、「すばらしかった。子どもたちの思いがよく伝わってきた。」と言ってくださいました。
- 元職員の先生と梁小の閉校式で会いました。「昨日はすばらしい式に参加させていただいて本当によかった。子どもたちの思いがあふれていた式で、一生懸命思いを表そうとしている姿に感動した。」と言ってくださいました。
- 梁小の来賓として入場前に廊下に並んでいると、梁小学校の地域のお年寄りの男性の方が、もう一人の人に、「普段電話なんかよこさないのに延島の〇〇から昨日電話が来て、閉校式で感動して涙が止まらなかったってよ……。」と話していました。
- 「先生方の子どもたちに対する思いもすばらしい。いつ来ても先生方に感心する。今回、子どもたちもよかったけど、先生方も頑張ったね。」と自治会長の方からも言葉をいただきました。

言葉以外に画像を送ってくださった方がいました。また、当日の記録をDVDにして児童を通して学校に届けてくださった保護者の方もいます。言葉も、画像もDVDもすべてが大切な宝となりました。地域の方、保護者の方も児童や学校職員と同じ思いとなって『閉校式』、『ありがとう延島小お別れ式』を行えたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

カウントダウンボード納め式

いよいよ閉校記念事業の最後の行事です。3月24日(金)修了式の日に行います。時間等詳細は後ほどお知らせいたします。子どもたちと一日一日大切にしてきたカウントダウンも最終日となります。平日ですが、お時間のある方はぜひおいでください。

『閉校式』『ありがとう延島小閉校式』が終わって、7日の火曜日は日常の学校生活がまた始まりました。給食時には自学ノートのがんばり賞を9名に配りました。昼休みには、新たに自学ノートを持ってくる子が4人、漢字、計算50問合格のシールをもらいに来る子が次から次へと校長室のドアをノックしました。大忙しの昼休みでした。こうやって残りの1、2日も過ぎていくのだなと感じました。

